

NO. 68
 H5.2.1
 -発行-
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 TEL096
 293-8100

レベル

理事長 田中 稔

一月三十日、三十一日自閉症児者親の会九州協議会が鹿児島市で行われます。九州各県の親の会は二十年前から持ち回りで2年に一度、親の会九州大会を続けています。全国でブロック単位の会を持ち続けているのは九州だけです。これは誇って良い事だと思います。今回の役員会は、来年の開催地である佐賀大会への引き継ぎの為に開かれます。こういう背景があったりして現在は九州各県に1、2ヶ所の自閉症施設が出来ています。(施設によって自閉症者の比率はまちまちですが。)

た。(同名称の全国組織は既に7、8年前より発足)今年、福岡で第1回の大会が開かれる予定です。目的は各施設職員間の交流と自閉症療育内容のレベルの向上がねらいです。各施設とも各県に一つという様な状況です。自分達のやっている療育内容について判断する基準がありません。よほど勉強していないと、自閉症施設としてやっているのだから自分達のものが一番良いと思ってしまう危険があります。『自分達の仕事はどこにも負けない。』『どこ』とは一体『どこ』の事なのでしょいか。

連絡協議会の準備会で私達が強く要求した事は、各施設職員が苦労話に花を咲かせる飲食を中心とした交流会的なものでなく、自分

達の現状を謙虚に厳しくチェックし合いレベルの向上につながる会にして頂きたいという事です。この春より『新しい実践理論』に立った『仕事』を始めます。

※この原稿を書いていたらRKK、NHKでたて続けに『自閉症』という『言葉』をとんでもない誤った使い方をしている場面を見ました。一体、何時になったら『自閉症』という言葉が正しく理解してもらえるのでしょうか。怒っています。



療育シリーズ

集中力と持続力

園長 土井尚典

自閉症の人は集中力や持続力がないと言う指導者や保護者の悩みを耳にします。ところが自分の好きなことは何時間でも飽きずにやっていると言う事も聞きます。しかし、新しいことを指導しようとする集中しようとしないうし、飽きっぽくて仕方がないという図式であります。

私達も自分が知らないことを教えてもらおうとすると興味がなければなかなか集中できないし、集中が続けません。人間の心は自閉症であっても変わりはありません。自閉症の人に何かを教えようとすることは「大変難しく、興味が無いこと」を教えようとしているのだと認識してしまえば普通のことなのです。

集中力と持続力には発達のプロセスがあります。その発達が分か

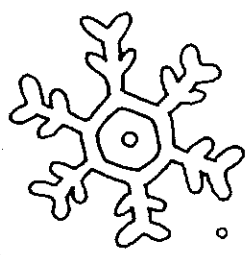
ると容易に解決致します。新しいことを学習するときには人の持つエネルギーは限界があると考えると、集中力と技術は合い反すると言うことです。技術が下手だと集中力がたくさん要り、上手になると集中力は少いで済むということとです。一方持続力は技術が向上すると続くようになるということとです。持続力と集中力は同じように見えますが集中力が少なくて済むと持続力が増すということとです。集中力が増すと持続力が増すと考えてしまいがちですが違うようです。

また技術と興味の関係では技術が向上すると興味も増すようです。従って、集中力と持続力は技術の向上が要になっているようです。さらに興味をそだてるためにも技術の向上が一役かっているようです。

振り出しに戻るような意見もあります。集中力や持続力や興味がないと技術は向上しないという考

えです。この考えですと自閉症の人は永久に発達しないというあきらめが起きる危険性があります。

集中力と持続力と興味がないことははっきりしています。その人に学習させる方法があれば良い訳です。三気の里では学習させるステップとして①形を決める(知る)②指示に従う(やる)③自発性(頑張る)を考え実行しています。それぞれステップに幾つかの方法がありますので対象者や内容によって選択します。原理は簡単に考えております。「知らないからできない、できないからおもしろくない」です。



成人式に思う事

藤崎喜子

「憲一君成人おめでとう。」いろいろな人からお祝いの言葉を戴きありがとうございます。たいした事故もなく無事二十歳を迎える事ができたのも多くの人達にお世話になり守って戴いたお陰だと感謝しています。

この二十年の間私にはいろいろな事がありました。私が二十八歳の時、三歳の娘と一歳の憲一を残し主人は我が子が障害児である事も知らず事故で亡くなりました。それから二つのハンディを背負い、気は張りっぱなしで神経の細かい私は何度も切れそうになりましたが、どうにか乗り越えてきました。五年前、三歳の里にご縁があり受け入れて戴いたお陰で息つく暇もできました。しかし、健常児が成人になると全く違ってこれから先の事を考えると不安になるばかりです。幸いにも不幸にもめげず娘が明るく育ってくれ今では

社会人となり私の支えになってくれています。これからも三歳の里の皆様や保護者の方々には何かとお世話になる事と思います。今後共よろしくお願い致します。



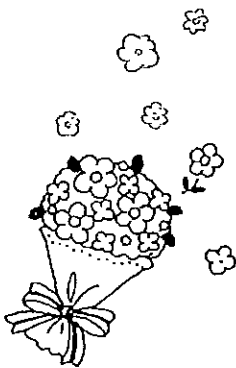
成人式

今村由紀

一月十五日(金)成人の日、今年の成人者は藤崎君・前田君の二名です。新しいブレザーとスーツをおしゃれにきめ、「おめでとう」「かっこいいね。」とみんなからお祝いの言葉をもらい、大津町の成人式へと向かいました。

大津町民センターでは、一時間半、新成人と一緒にクラッシックコンサートやお祝いの言葉を聞きました。二人とも静かに座っている姿を見て嬉しくなりました。式典が終わり記念撮影をし、健軍神社参拝・食事会・記念植樹をして成人式の日程を終えました。この日は雨が降っていたのですが、二人のことを祝福してくれたのでしよう。神社参拝と記念植樹の時は雨もあがっていました。記念に植えたアメリカハナミズキが、これから二人を見守りながら、共に成長していくことでしょう。

一日中『おめでとう』の言葉を沢山もらって、少々聞きあきたかもしれないけど、藤崎君・前田君成人おめでとう。ご家族の皆様おめでとう。ご家族の皆様



1 班 初作業は…。

楽しかった冬季帰宅訓練も終わり、みんなふっくらになったほっぺたを真っ赤にしながら三気の里へ帰って来ました。6日からさっそく作業を始め、みんな少し戸惑い気味。特に洗濯仕分け作業グループの人達は、「これ誰の?」「名前がわかりません。」等々、職員に質問ぞめ。職員も正月ボケなのか今イチ反応が鈍い。(ちなみにその職員というのは私の事である。)

いつもよりも少し遅く作業が終わり、みんなで一緒におやつを食べた。久しぶりの作業を一生懸命頑張った事にみんな満足したのか全員とてもいい顔でおやつを食べていた。

その気持ちを忘れないで今年も頑張っていこうね。ファイト!! 津江

2 班 神様お願い

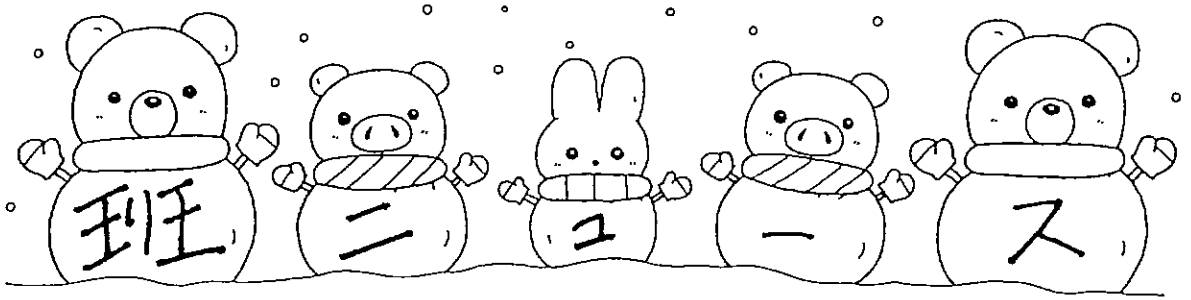
新しい年を迎えるって、気持ちの良いものですよね。そんなすがすがしい気分、「さあー、今年もがんばるぞー。」と気合のはいった2班。恒例の3社参りをしてきました。大きな声でお願いする人、たくさん願い事をかなえてもらおうと何度も何度も鈴をならしていた人、最後までしっかりとお金を握り締めていた人。自分がみんなの願い事をかなえてあげようと、神様にはお尻を向けみんなのほうにお参りしてくれた人と様々でしたが、いったいみんなどんなお願いをしたのでしょうか!!しかし、あのパワーでお願いしたのだから、神様もきっと願い事をかなえなくてはいけなくなるでしょう。職員は…という今年こそは“たくわん”を上手につけるぞーと誓いました。(みんなの前で言ったからにはできるのでしょうかねえ。) 今年もまた、しっかりがんばって、楽しいことたくさんしようね。がんばるぞー! 清田

外作業班 今年は何?

毎年、年頭に当たっては『今年こそ〇〇しよう!』などと思うのが常ですが、外作業班では、室内作業に花造り、ワラづと造りと少しずつながらも作業は発展し、独自の作業を行う園生が増えています。昨年移動してきたメンバーの実力もアップしてきていて、畑にできたにんじんやレタスを丁寧に丁寧に扱えるようになり、他の園生と協力しながら収穫や出荷に精を出しています。

さて、今年の『〇〇』には何を入れましょう。敬ちゃんだったら『ドライブ』かな。修ちゃんだったら『ファミコンのゲームで勝ちます』かな。富田さんだったら『いっぱい花ぼうゆる』かな。由美ちゃんだったら『加勢大周に会いに行く』かな…。みんなの『〇〇』は多分作業の事ばかりではないでしょう。でも、忘れちゃいけないよ、基本は『頑張ること!』。外作業班の今年の『〇〇』は、『いっぱい頑張って、いっぱい楽しもう』で決まり。みんな、しっかり!

東 平川



3 班 年はじめの丸太運び

「もっと力を入れて〜。」と、大声で怒鳴られ、作業に一本のピーンとした緊張の糸がはりつめます。この緊張がないと大きな事故が起こるので、職員も必死です。そうやって数多く叱られながら、近ごろでは大きな成長が見られます。タケちゃん、キクちゃん、シンイチロウくんは、以前よりずっと木の皮むきが上手になりましたし、マーくん、テッチャン、ミノルくん、カズくんは丸太を持つ時の力の入れ方が上達したようです。マコちゃんは三人がかりで持ってきた丸太を一人で運び職員をびっくりさせ、そのマコちゃんに肩を並べる力もちがシンちゃんです。ケンちゃんは皮むきのそのスピードと、丁寧さにおいて群を抜き驚かされます。…目の前で、ジュンちゃんが大きな丸太を一本、ひょいひょいと運んで行きます。「少し前まで空の一輪車でさえ扱えなかったのにねえ〜。」そうつぶやきました。ちょっと嬉しい瞬間です。目を輝かせながらそんなジュンちゃんを見守る担当指導員を横目でみていると、感動が伝わってくるようです。

坂本

4 班 愛情野菜

年が明け、寒さも本番になった今「あ〜、寒いねえ。」とブルブル震えているのは職員ばかり…。重い腰を上げ「作業始めるよ。」と一声掛けると、待ってましたとばかりに皆、一目散に外へ飛び出して行きます。年々、たくましくなっていくみんなです。

現在は、野菜作りの第一歩として土作りを行っています。（苗を作るときに用いる赤土を細かくする作業）移植ゴテで、ゴロゴロした赤土をたたいて細かくつぶす人、又それを篩にかけて大小選別してくれる人と流れ作業で、きめの細かい土が出来て行きます。

外見より中身で勝負の4班の野菜達ですが、今では保護者・無人販売所を利用してくれる方、それに業者の方までが私達の野菜を使って下さり、色々な方々に食べてもらえることが本当に嬉しく思います。今年も愛情のこもった野菜作りをしていきたいと思ひます。

山中

クリスマス会

清田美加

12月24日、三気の里の食堂には、音楽（ジャズ）が流れ、キャンドルに灯がともりローストチキン（なんと丸ごと）、ケーキなどの御馳走が各テーブルに並び、まるで高級レストランのようなどてもすてきな雰囲気にも包まれていました。年々クリスマス会も大人の雰囲気へと変わりつつあります。飾り付け、司会、その他食事の準備等あらゆるところでもみんな大活躍。職員が手伝う場面が少なくなり、食事もゆったりと楽しくできるようになったみんなを見て「成長したなあ」とすてきなクリスマス夜の夜にただひたすら感動していたのは私だけだったでしょうか？



どんどや

津江 香

「今年もみんなが無病息災で過ごせますように」との願いをこめ、21日午後より、どんどやを行いました。心配された天気もみんなの願いが届いたのかみごとな晴天。「点火」の合図でどんどやに火がつけられると、その火の勢いに驚いたのか、みんな静かになり、火を見守るようにじっとどんどやを見ていました。火が下火になると、各班で厨房さんの用意したお団子を貰いに行き、面々竹に刺して焼いて食べました。焼く手つきも慣れたもので（ある人は竹をくると回しながら焼いていた!!）火傷やケガもなく無事に終わることができました。

どんどやを組み立てて下さった外作業班、二班のみんな、砂野さん、忙しい中とてもおいしい団子を作って下さった厨房さん、本当にありがとうございます。今年もみんな元気で過ごせそうです。

食堂営業中

風邪の季節となり、ここ三気の里でもおいしい食事!?を汲々お粥に変えざるを得ない人達が、ちらほらと見え始めた。

そのうちの一人、A指導員は、昨年の暮れから正月にかけてをボカリスエットなどで過ごしたそうだ。それでも、誕生会と成人式を兼ねての夕食にはギリギリサーフで間に合った?かのようにお粥とおさらばした。

かわいそうなのは園生のB君。その日の朝から具合が悪く軟食となった。本人は「もう、大丈夫。」と、まだ治るはずもない自分をしきりに元気だとアピールしていたが、結局、夕食のケーキを食べられない羽目になってしまった。何はともあれ、健康が一番。ご家族の皆様も風邪には十分気をつけましょう。



前田

ぼらんていあ通信

毎日寒い日が続いていますが、皆さん風邪などひかず元気に過ごされていますか？

今年もお友達を沢山連れて気軽に、どんどん遊びに来て下さいね。今年もどうぞ宜しくお願いします。

《ボランティアありがとう》

☆一日ボランティア 嘉屋本博

☆新年会 松本美和・榎本明美

白石亜紀・松永佳子

☆散髪 坂本シマコ・遠山一恵

園田美津子

(敬称略)

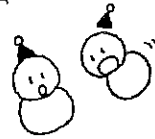


《ボランティア募集》

来る3月20日(土)、寒さを吹き飛ばし園生と一緒に三角にある”自然の里“へ奉仕作業へ行きませんか？行きたいと思われる方はボランティア担当(山中)までご連絡下さい。※3月13日締め切り

山中

デソントラル通信



森 隆子

昨年は、病気をしたためブラッシング指導がうまく出来ませんでした。今年には心新たに頑張りたいと思います。

今回は、歯科衛生士としてボランティア活動をされている吉永さんを紹介します。

吉永 晃子

はじめまして。今回は、ボランティア活動を行ってきた中で感じた事をお話ししたいと思います。

私はある身障者施設に、月に一

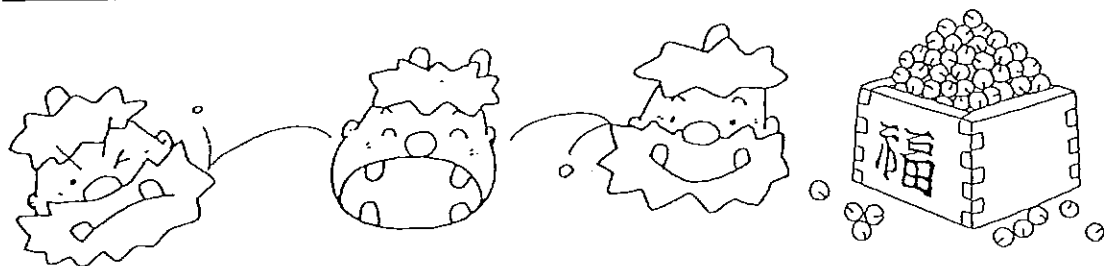
二度訪問しております。最初の頃は気ばかりあせって、何かをしながらはいけないという義務感ばかりが強くて、試行錯誤の日々が続きました。一年程して、皆さんとうまくコミュニケーションがとれるようになり、それからストレスの溜まっている方の愚痴を聞いたり、ワイワイゲームを楽しんだりという遊び感覚のものに変わりました。いつかは歯科の分野も取り入れて、皆さんと楽しくできればと思っております。

私はこの活動を通じて森さんという先輩にも恵まれ、自分を成長させる大切な「時」を持つことができました。未熟者ですが、長くボランティア活動を続けていければ幸せだと思います。これからも、よろしくお願い致します。



2月の行事予定

1(月)	17(水)
2(火)	18(木) 4班レク、誕生会
3(水) 体重測定	19(金)
4(木) 2・外作業班レク	20(土) シーツ交換
5(金)	21(日)
6(土) シーツ交換	22(月)
7(日)	23(火)
8(月)	24(水)
9(火)	25(木) 3班レク
10(水)	26(金) 大掃除
11(木) ㊦	27(土) ㊦帰宅バス運行
12(金) 1班レク	28(日) 白川ラインマラソン
13(土) 帰宅日、父兄会	
14(日)	
15(月) 防災訓練	
16(火)	



後援会入会

ありがとう

篠崎久五

山本昌央

坂井省三

坂井省英

鈴木友治

塚本謙二

田中恭子

編集後記

一月二十九日付け
※敬称略

編集前日、寒波襲来で阿蘇は大混乱とか。そんな中でも、三気の里の職員は何事もなく出勤……。皆の丈夫さに感心したり驚いたり。三気の里も周囲もうっすら雪化粧。その中で雪国生まれの小生は思わずホワイトクリスマスを想像し浮かれておりました。

現在、今月号のたんぼぼと並行して冊子91年度版のたんぼぼを発行しようと再校正しております。早ければ2月末には出来上がる予定です。好御期待。

坂井